

食品安全情報（微生物） No.20 / 2023（2023.09.27）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

(<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>)

目次

[【米国疾病予防管理センター（US CDC）】](#)

1. デリミート（調理済み食肉）およびチーズに関連して複数州にわたり発生したリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2023年3月29日付最終更新）

[【カナダ公衆衛生局（PHAC）】](#)

1. 公衆衛生通知：フランス Bordeaux で発生中のイワシに関連している可能性があるボツリヌス症アウトブレイク（2023年9月14日付初発情報）
2. 国外旅行に関連していないサイクロスポラ感染を調査中（2023年9月19日付更新情報）

[【欧州疾病予防管理センター（ECDC）】](#)

1. リステリア症 - 2020年次疫学報告書

[【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】](#)

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

[【アイルランド食品安全局（FSAI）】](#)

1. アイルランド食品安全局（FSAI）が世界各国の食品規制当局代表者による国際フォーラム「International Heads of Food Agencies Forum」を主催

[【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】](#)

1. キプロスとドイツが食品安全のため協力

【各国政府機関】

- 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)

<https://www.cdc.gov/>

デリミート（調理済み食肉）およびチーズに関連して複数州にわたり発生したリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイク (2023年3月29日付最終更新)

Listeria Outbreak Linked to Deli Meat and Cheese

Posted March 29, 2023

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/deli-11-22/index.html>

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/deli-11-22/details.html> (Investigation Details)

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/deli-11-22/map.html> (Map)

米国疾病予防管理センター (US CDC)、複数州の公衆衛生・食品規制当局、米国農務省食品安全検査局 (USDA FSIS) および米国食品医薬品局 (US FDA) は、複数州にわたり発生したリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクを調査した。

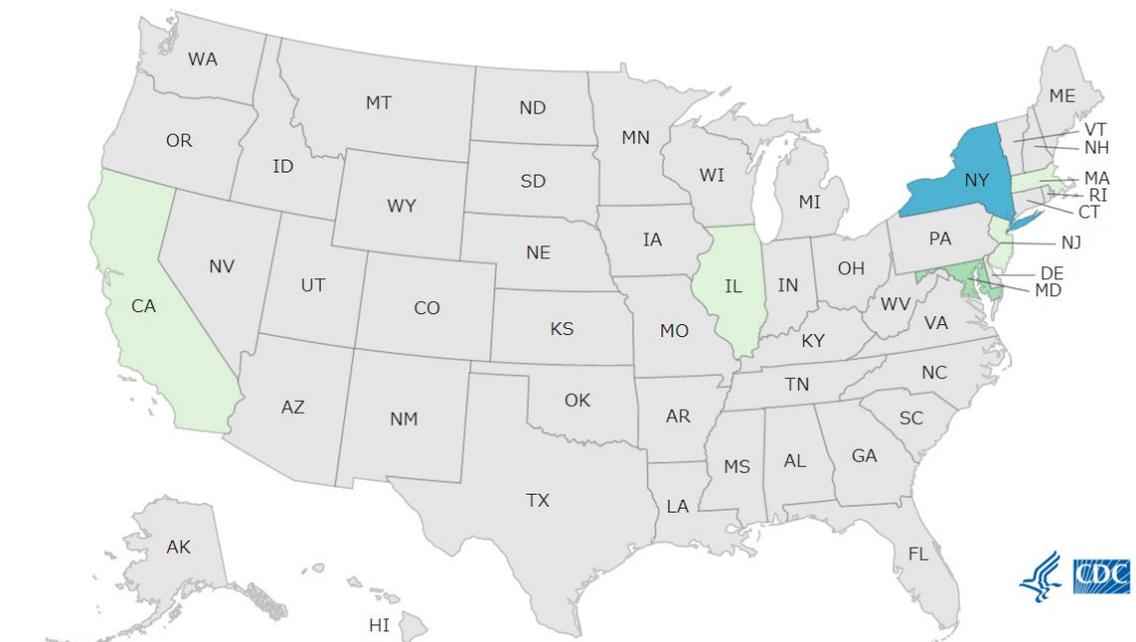
疫学調査および検査機関での検査によるデータは、デリ（調理済み食品売り場）カウンターで提供された食肉製品およびチーズが本アウトブレイクの感染源であることを示した。患者に共通する単一のデリや原因食品は特定されなかった。

2023年3月29日時点で本アウトブレイクは終息している。

○ 疫学データ

2023年3月29日までに、*L. monocytogenes* アウトブレイク株感染患者が6州から計16人報告された (図)。患者由来検体は2021年4月17日～2022年9月29日に採取された。

図：リステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクの居住州別患者数 (2023 年 3 月 29 日時点の計 16 人)



Number of Sick People

- 1 to 2
- 3
- 7

各州・地域の公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特性、および患者が発症前 1 カ月間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集した。これらの情報は、本アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなった。

患者の年齢範囲は 38～92 歳、年齢中央値は 74 歳で、62%が男性であった。人種・民族に関する情報は患者 15 人について得られ、このうち 13 人が白人、1 人がアフリカ系アメリカ人（黒人）、1 人がアジア系であり、ヒスパニック系であると報告した患者はいなかった。患者 11 人は東欧系またはロシア語を話す民族であった。

診療に関する情報が得られた患者 14 人のうち 13 人が入院した。また、1 人が妊娠中に感染して流産し、メリーランド州から死亡者 1 人が報告された。

患者への聞き取り調査が実施され、聞き取りが行われた 12 人のうち 11 人が、デリカウonderで提供された食肉またはチーズの喫食を報告した。ニューヨーク州の患者 7 人のうち 5 人は、輸入食品を販売する食料品小売チェーン **NetCost Market** の少なくとも 1 カ所の店舗で薄切りのデリミート（調理済み食肉）またはチーズを購入していた。その他の州の患者は別のデリでデリミートまたはチーズを購入していた。

本アウトブレイクには **NetCost Market** の店舗で買い物をしていなかった患者も含まれ

ているため、感染源が NetCost Market のデリのみである可能性は低い。汚染された 1 つの食品を介して *L. monocytogenes* アウトブレイク株が複数州のデリに持ち込まれた可能性が高い。

○ 検査機関での検査データ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet（食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク）のシステムを利用した。CDC の PulseNet 部門は、食品由来疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には WGS（全ゲノムシーケンシング）法により DNA フィンガープリンティングが行われる。

WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来リステリア株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ食品により感染したことを示唆している。

2021 年に行われた調査で、ニューヨーク州およびニューヨーク市の保健当局は、NetCost Market のブルックリンの 1 店舗のデリ由来の環境検体、ブルックリンの当該デリで薄切りされた複数の開封済みモルタデッラ（ソーセージ）とハム、および NetCost Market のスタテン島の 1 店舗のデリで患者 1 人が購入したスライスサラミの各検体から、*L. monocytogenes* アウトブレイク株を検出した。

ニューヨーク州当局がこの検査結果（以下 Web ページ参照）を NetCost Market に通知した後、同社はブルックリンの当該デリを一時的に自主休業した。

<https://www.nyc.gov/assets/doh/downloads/pdf/han/alert/2021/listeriosis-cluster-brooklyn.pdf>

NetCost Market は当該デリの入念な清掃を実施し、環境検体からリステリアが検出されないことが確認された後にこのデリの営業を再開した。

2022 年 9 月にブルックリンの当該デリで *L. monocytogenes* アウトブレイク株が検出されたが、NetCost Market のデリへの曝露歴がある直近の患者は 2021 年 10 月に発症した患者であった。入念な清掃の実施後に環境検体を再び採取し検査した結果、当該デリではリステリアは検出されなかった。

○ 公衆衛生上の措置

CDC は、リステリア症の重症化リスクが高い人に注意喚起を行い、たとえアウトブレイクが発生していなくても、デリミートおよびデリカウンターで薄切りされたチーズは、内部温度が華氏 165 度（74℃）になるまで再加熱、または蒸気が出るまで再加熱するよう助言している。

（食品安全情報（微生物）No.24 / 2022（2022.11.22）US CDC 記事参照）

● カナダ公衆衛生局 (PHAC: Public Health Agency of Canada)

<https://www.phac-aspc.gc.ca/>

1. 公衆衛生通知：フランス **Bordeaux** で発生中のイワシに関連している可能性があるボツリヌス症アウトブレイク (2023年9月14日付初発情報)

Public Health Notice: Outbreak of suspected botulism in Bordeaux, France linked to sardines

September 14, 2023 – Original Notice

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices/2023/outbreak-suspected-botulism-bordeaux-france-linked-sardines-tchin-tchin-wine-bar.html>

フランスの公衆衛生当局は、ボツリヌス症の疑い患者 10 人の調査を行っている。患者のうち 3 人はカナダの居住者である。カナダ以外の患者のうち 1 人が死亡した。

患者は発症前に全員がフランス **Bordeaux** にある飲食店「Tchin Tchin Wine Bar」で食事をしていました。当該飲食店は 2023 年ラグビーワールドカップのファンゾーンに近接し、観光客に人気のエリアに位置している。

当該飲食店で調理・提供されたイワシが患者の感染源として疑われている。感染源への曝露は 2023 年 9 月 4～10 日に発生した。ボツリヌス症は発症までに最長で 8 日間を要する可能性があるため、フランスへの旅行中に当該飲食店で食事をしたカナダ人でさらなる患者が特定される可能性がある。フランスに旅行し 2023 年 9 月 4～10 日に「Tchin Tchin Wine Bar」で食事をした人は、症状を自己観察し、発症した場合は直ちに医療機関を受診すべきである。

2. 国外旅行に関連していないサイクロスポラ感染を調査中 (2023年9月19日付更新情報)

Non-travel related *Cyclospora* infections under investigation

September 19, 2023

<https://www.canada.ca/en/public-health/services/public-health-notices.html>

2023 年 9 月 19 日までに、サイクロスポラ症患者計 370 人が、オンタリオ州 (307 人)、ケベック州 (39)、ブリティッシュ・コロンビア州 (21)、ノバスコシア州 (1) およびニューファンドランド島 (2) から報告され、調査が続けられている。7 人が入院し、死亡し

た患者は報告されていない。患者の 54%が女性で、患者の年齢範囲は 1～97 歳である。回収は実施されておらず、公衆衛生通知は発表されていない。

カナダでは毎年、国外旅行と関連のないサイクロスポラ症患者がカナダ公衆衛生局 (PHAC) に報告されており、その報告数は春季および夏季に増加する。PHAC は公衆衛生・食品安全当局と協力し、感染経路を調査している。過去の事例では、包装済みミックスサラダ、バジル、シラントロ (コリアンダー)、ベリー類、レタス、サヤエンドウ、スナックエンドウなどの様々な種類の輸入生鮮農産物がサイクロスポラ症患者に関連していた。

(食品安全情報 (微生物) No.19/2023 (2023.09.13)、No.18/2023 (2023.08.30)、No.17/2023 (2023.08.16)、No.16/2023 (2023.08.02)、No.15/2023 (2023.07.19)、No.14/2023 (2023.07.05) PHAC 記事参照)

● 欧州疾病予防管理センター (ECDC: European Centre for Disease Prevention and Control)

<https://www.ecdc.europa.eu/>

リステリア症 — 2020 年次疫学報告書

Listeriosis - Annual Epidemiological Report for 2020

29 Mar 2023

<https://www.ecdc.europa.eu/sites/default/files/documents/listeriosis-annual-epidemiological-report-2020.pdf> (報告書 PDF)

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/listeriosis-annual-epidemiological-report-2020>

欧州疾病予防管理センター (ECDC) は、「リステリア症 — 2020 年次疫学報告書」を公表した。その内容の一部を以下に紹介する。

主な内容

- 2020 年は、欧州連合／欧州経済領域 (EU/EEA) 加盟 29 カ国からリステリア症確定患者計 1,931 人が報告された。
- ドイツ、フランスおよびスペインの患者数が特に多かった。
- EU/EEA 全体での人口 10 万人あたりの年齢標準化報告率 (ASR) は 0.37 であった。

- ・ 人口 10 万人あたりの報告率が最も高かった年齢層は「65 歳以上」で 1.5 であった。
- ・ 2020 年は、EU/EEA のリステリア症確定患者数は減少し、これは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックによる影響を受けた可能性がある。

方法

本報告書は、2021 年 11 月 5 日に欧州サーベイランスシステム（TESSy）を検索して得られた 2020 年のデータにもとづいている。TESSy は、感染症に関するデータの収集・分析・発信を行うためのシステムである。

本報告書の作成方法の詳細、各国のサーベイランスシステムの概要、および本報告書の作成に使用されたデータのサブセットについては、ECDC の下記の各 URL から入手可能である。

<https://www.ecdc.europa.eu/en/surveillance-and-disease-data/annual-epidemiological-reports/introduction-annual>（方法の詳細は Methods の項目参照）

<https://www.ecdc.europa.eu/en/publications-data/surveillance-systems-overview-2020>
（2020 年の各国のサーベイランスシステムの概要）

<https://atlas.ecdc.europa.eu/public/index.aspx>（使用されたデータのサブセット入手先）

リステリア症は、EU 加盟国の大多数、アイスランドおよびノルウェーで報告義務疾患となっている。3 カ国（ベルギー、ルクセンブルク、英国）は報告が任意である。ベルギーおよびスペインを除くすべての加盟国において、リステリア症のサーベイランスシステムは全国が対象となっている。2015 年以降のベルギーの報告の人口カバー率は 80%と推定されている。本報告書では、ベルギーの報告率を算出する際に、人口カバー率の経時的変動が考慮されている。スペインについては、推定カバー率に関する情報が得られなかったため、報告率は算出されなかった。2020 年のスペインのデータは全ての地域からの報告ではなかったことから、患者数は完全なものではない可能性がある。

リステリア症患者の報告に使用された症例定義は、加盟 29 カ国のうち 9 カ国では EU の 2018 年の定義、9 カ国では 2012 年の定義、6 カ国では 2008 年の定義であった。加盟 4 カ国ではこれらとは別の症例定義が使用され、1 カ国では使用された症例定義が不明であった。加盟 26 カ国が受動的サーベイランスを実施し、うち 22 カ国では検査機関と医師・病院の双方から患者が報告された。集計データを報告したブルガリアを除く全ての加盟国が症例ベースのデータを報告した。患者数、報告率、疾患の動向および年齢別・性別分布の算出には、両形式による報告データが使用された。

ECDC は、分離株ベースのデータ収集による、EU/EEA 規模のリステリア症の全ゲノムシーケンシング（WGS）強化サーベイランスを 2020 年も継続して行った。

このサーベイランスの目的は以下の通りである。

○ 短期的目的

- ・ アウトブレイク調査の開始および食品の前向き・後ろ向き追跡調査に寄与し、食品チェーンにおいて適切な予防管理対策を実施できるようにするため、複数国にわたるリステリア症アウトブレイクや広範囲のクラスターを早期に探知すること。

○ 中期的目的

- ・ *Listeria monocytogenes* の新興・再興株の検出および拡散のモニタリング。
- ・ EU/EEA 域内のリステリア症患者の原因で、持続的な汚染源に由来して存在し続けている可能性がある *L. monocytogenes* 株の特定。
- ・ 感染経路と新しい感染リスク因子の特定、および疾患の重症度の評価。

○ 長期的目的

- ・ 特定の複数の指標を利用した、EU/EEA におけるリステリア症患者の傾向のモニタリング。

クラスター検出のため、参加加盟国から WGS のリードまたはゲノムアセンブリが提出された。塩基配列は、ソフトウェア BioNumerics version 7.6.3 (Applied Maths 社、ベルギー Sint-Martens-Latem) を使用して ECDC で解析された。リードの解析では、BioNumerics version 7.6.3 のデフォルト設定を使用したトリミング、SPAdes v3.7.1 を使用した *de novo* アセンブリ、およびリードのアセンブリへの再マッピングやコンセンサス配列の維持 (SPAdes v3.7.1 に実装されている MismatchCorrector を使用) によるアセンブリ後の調整が行われた。Allele Calling には、BLAST パラメータのデフォルト設定が使用された。パスツール研究所の方式に従い、アセンブリにもとづく Allele Calling を使用して BioNumerics でコアゲノム多座塩基配列タイピング (cgMLST) が行われた。1,748 のコア遺伝子座のうち少なくとも 1,574 遺伝子座 (90%) が検出された場合、分離株は引き続き解析対象とされた。

複数国にわたる *L. monocytogenes* のコアクラスターの定義は、cgMLST による相互の差が 4 アレル以内 (単連結解析) の株が、少なくとも 2 カ国のそれぞれから 1 株以上報告される事例とされた。検出されたクラスターをさらに詳細に調べるため、コアゲノムの差の閾値を 7 アレルとして、疫学的に関連している可能性がある分離株の探索が行われた。

ECDC は、リステリア症クラスター検出のために加盟国から提出される WGS 解析データのほか、複数国にわたるアウトブレイクの調査で得られた塩基配列データも収集し、集約した解析を行っている。

疫学的状況

2020 年は、EU/EEA 加盟 29 カ国からリステリア症確定患者計 1,931 人が報告され、全体での人口 10 万人あたりの報告率は 0.43 であった（表 1）。ドイツ、フランスおよびスペインの患者数が特に多く（それぞれ 544 人、334 人、191 人）、これらの合計が EU/EEA の全確定患者数の 55.4%を占めた。報告率が特に高かった国はフィンランド、スロベニアおよびアイスランドであった。図 1 は、人口 10 万人あたりの年齢標準化報告率の国別分布である。

表 1：国別・年別のリステリア症確定患者数および人口 10 万人あたりの報告率（EU/EEA、2016～2020 年）

Table 1. Distribution of confirmed listeriosis cases and rates per 100 000 population, by country and year, EU/EEA, 2016–2020

Country	2016		2017		2018		2019		2020		
	Number	Rate	ASR								
Austria	46	0.53	32	0.36	27	0.31	38	0.43	41	0.46	0.41
Belgium	103	1.14	73	0.80	74	0.81	66	0.72	54	0.59	0.55
Bulgaria	5	0.07	13	0.18	9	0.13	13	0.19	4	0.06	0.06
Croatia	4	0.10	8	0.19	4	0.10	6	0.15	5	0.12	0.11
Cyprus	0	0.00	0	0.00	1	0.12	1	0.11	2	0.23	0.24
Czechia	47	0.45	30	0.28	31	0.29	27	0.25	16	0.15	0.13
Denmark	40	0.70	58	1.01	49	0.85	61	1.05	43	0.74	0.64
Estonia	9	0.68	4	0.30	27	2.05	21	1.59	3	0.23	0.20
Finland	67	1.22	89	1.62	80	1.45	50	0.91	94	1.70	1.40
France	375	0.56	370	0.55	338	0.50	373	0.56	334	0.50	0.44
Germany	662	0.81	721	0.87	678	0.82	571	0.69	544	0.65	0.53
Greece	20	0.19	20	0.19	19	0.18	10	0.09	20	0.19	0.16
Hungary	25	0.25	36	0.37	24	0.25	39	0.40	32	0.33	0.29
Iceland	0	0.00	6	1.77	2	0.57	4	1.12	4	1.10	1.22
Ireland	13	0.28	14	0.29	21	0.43	17	0.35	6	0.12	NR
Italy	179	0.30	164	0.27	178	0.29	202	0.33	155	0.26	0.22
Latvia	6	0.30	3	0.15	15	0.78	6	0.31	8	0.42	0.37
Liechtenstein	ND	ND	ND								
Lithuania	10	0.35	9	0.32	20	0.71	6	0.21	7	0.25	NR
Luxembourg	2	0.35	5	0.85	5	0.83	3	0.49	4	0.64	0.73
Malta	1	0.22	0	0.00	1	0.21	5	1.01	5	0.97	0.94
Netherlands	89	0.52	108	0.63	69	0.40	103	0.60	90	0.52	0.45
Norway	19	0.36	16	0.30	24	0.45	27	0.51	37	0.69	0.66
Poland	101	0.27	116	0.31	128	0.34	121	0.32	62	0.16	0.15
Portugal	31	0.30	42	0.41	64	0.62	56	0.54	47	0.46	0.37
Romania	9	0.05	10	0.05	28	0.14	17	0.09	2	0.01	0.01
Slovakia	10	0.18	12	0.22	17	0.31	18	0.33	7	0.13	0.12
Slovenia	15	0.73	13	0.63	10	0.48	20	0.96	26	1.24	1.10
Spain	362	NR	284	NR	370	NR	504	NR	191	NR	NR
Sweden	68	0.69	81	0.81	89	0.88	113	1.10	88	0.85	0.74
United Kingdom	201	0.31	160	0.24	168	0.25	154	0.23	NR	NR	NR
EU/EEA	2 519	0.47	2 497	0.47	2 570	0.47	2 652	0.46	1 931	0.43	0.37

Source: country reports
 ASR: age-standardised rate
 ND: no data reported
 NR: no rate calculated.

情報源：各国の報告書

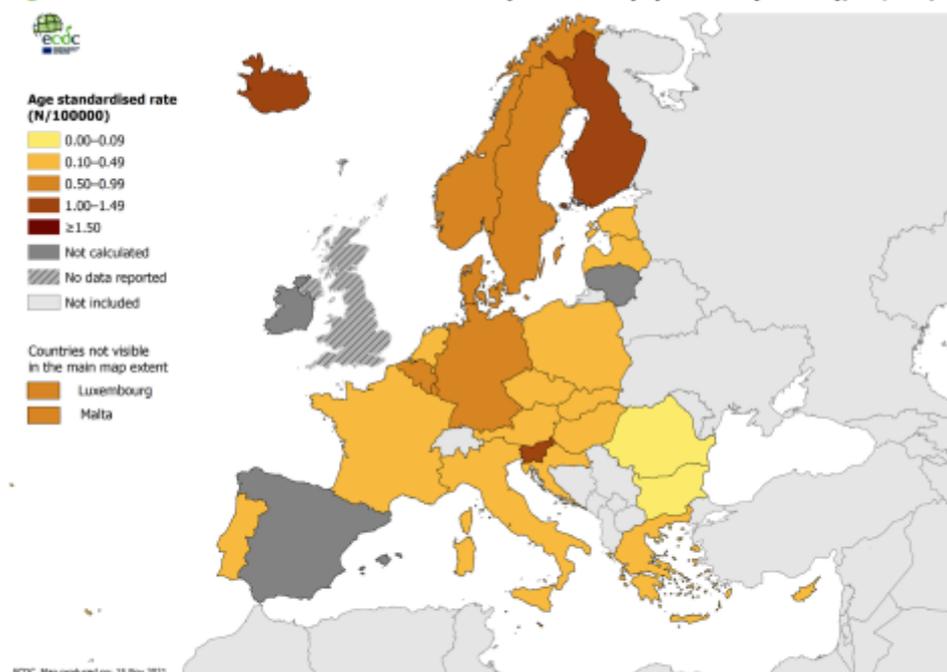
ASR：年齢標準化報告率

ND：データの報告なし

NR：報告率未計算

図 1: リステリア症確定患者の人口 10 万人あたりの年齢標準化報告率の国別分布 (EU/EEA、2020 年)

Figure 1. Distribution of confirmed listeriosis cases per 100 000 population by country, EU/EEA, 2020



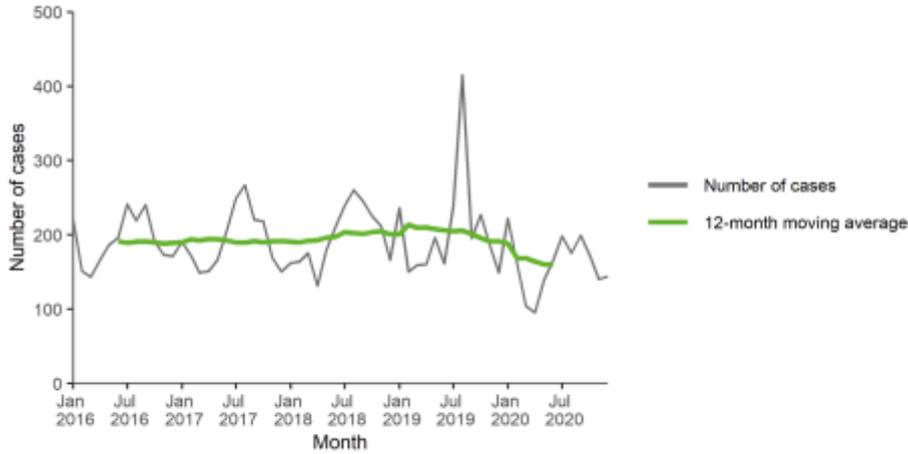
Source: Country reports from Austria, Belgium, Bulgaria, Croatia, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Lithuania, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, and Sweden.

(情報源：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、クロアチア、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スウェーデンの各国の報告書)

2016～2020年にリステリア症患者数を毎年報告した各国では、2019～2020年に患者数が減少しているものの、全体的に大きな変動は見られない(図2)。一般的に、リステリア症患者数は夏季にピークを迎えた後、夏季ほど大きくはないピークが冬季に見られる傾向があるが、2020年は冬季のピークが他の年より顕著であった(図3)。

図 2：リステリア症確定患者数の月別分布（EU/EEA、2016～2020 年）

Figure 2. Distribution of confirmed listeriosis cases by month, EU/EEA, 2016–2020

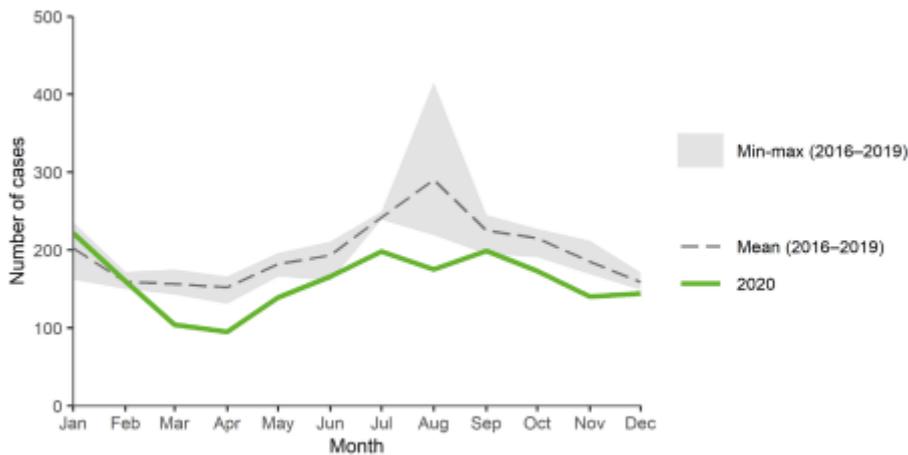


Source: Country reports from Austria, Belgium, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, and Sweden.

（情報源：オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデンの各国の報告書）

図 3：リステリア症確定患者数の月別分布（EU/EEA、2016～2019 年および 2020 年）

Figure 3. Distribution of confirmed listeriosis cases by month, EU/EEA, 2020 and 2016–2019



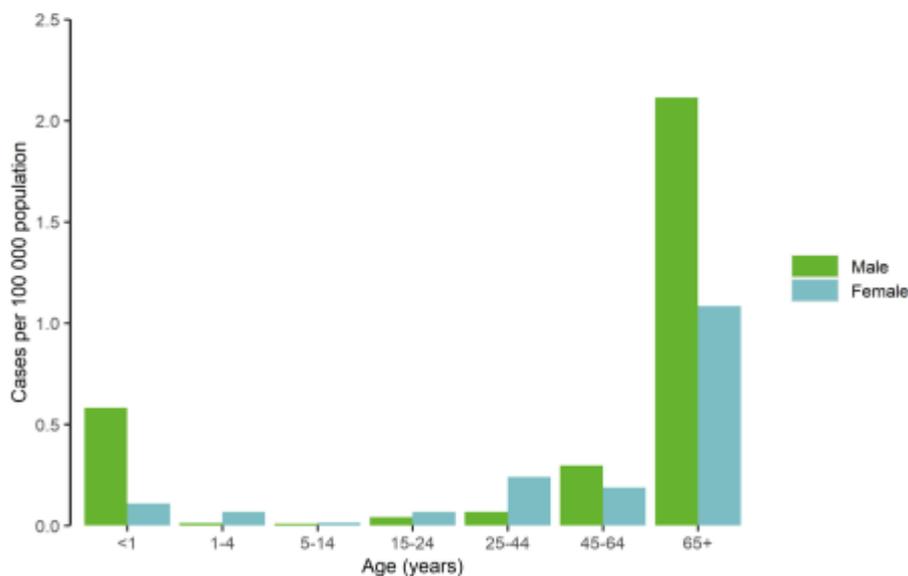
Source: Country reports from Austria, Belgium, Cyprus, Czechia, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Luxembourg, Malta, the Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovakia, Slovenia, Spain, and Sweden.

（情報源：オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデンの各国の報告書）

性別の情報が得られた確定患者（n=1,931、すなわち確定患者全員）のうち、56.4%が男性、43.6%が女性で、男女比は1.3：1であった。患者数が最も多かった年齢層は「65歳以上」であった（1,394人、72.5%、人口10万人あたりの報告率1.5）（図4）。2020年は、妊娠関連のリステリア症患者が計79人報告された。このうち9人が流産または新生児死亡となった（妊娠の転帰が報告されたのは妊娠関連患者のうち33%）。

図4：リステリア症確定患者の人口10万人あたりの報告率の年齢層別・性別分布（EU/EEA、2020年）

Figure 4. Distribution of confirmed listeriosis cases per 100 000 population, by age and sex, EU/EEA, 2020



全ゲノムシーケンシング（WGS）強化サーベイランス

2020年は、加盟7カ国が *L. monocytogenes* 計471株のWGS解析データを TESSy に提出した。さらに、複数国にわたるアウトブレイクについて実施中の調査に役立てるため、13カ国が計77株の塩基配列データを提出した。これらのデータを合わせて2020年より前に得られた塩基配列データと比較しながら解析したところ、2020年には複数国にわたる計13クラスターが検出され、これらには40株が含まれた。また、86株が2019年以前に検出されたクラスターの株に一致した。2020年末までに、複数国にわたる144クラスターが検出された。これらに含まれる1,318株については、1クラスターあたりの分離株数の中央値は4株（範囲：2～150株）で、関連した国の数の中央値は2カ国（範囲：2～11カ国）であった。初めて分離された日および最新の分離日に関する情報が得られた108クラスターについては、持続期間の中央値は2.3年（範囲：5日～14.8年）であった。

アウトブレイクおよびその他の脅威

2020 年は、ECDC の欧州疫学情報共有システム (EPIS) を介し、EU/EEA 加盟 5 カ国および非加盟 2 カ国から、リステリア症に関する緊急問い合わせ (urgent inquiry) が計 13 件発信された。このうち 7 件には、複数国にわたる事例であることを示す要素が認められなかった。残り 6 件には複数国にわたる事例であることを示す要素が認められ、このうち 5 件では可能性の高い感染源が見つかった。この 5 件のうちのドイツの 1 件では、cgMLST 法によって 2010~2020 年のリステリア症患者 15 クラスタ (相互の差異が 10 アレル以下) が特定され、様々なサーモン製品との関連が示された。

公衆衛生への影響

EU/EEA 域内のリステリア症患者数は 2016~2020 年にあまり変動していないが、それ以前の年に重症化および患者数増加の傾向が見られたことが懸念され、リステリア症およびそのアウトブレイクの予防管理にさらに注力する必要がある。特に患者数の多くを占める高齢者・免疫機能が低下している人および妊婦・乳幼児などのリスク集団が、リステリア症および高リスクの食品に対する意識を高めることが重要である。また、ヒトの *L. monocytogenes* 感染が持続的に発生している状況に取り組むには、国境を越えて分野横断的に協力することが必須である。

(食品安全情報 (微生物) No.17/2023 (2023.08.16)、No.14/2023 (2023.07.05)、No.11/2020 (2020.05.27) ECDC 記事参照)

● 欧州委員会健康・食品安全総局 (EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety)

https://commission.europa.eu/about-european-commission/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed)

https://food.ec.europa.eu/safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2023年9月5～18日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

フランス産チーズのリステリア、オランダ産フォカッチャのリステリア (*L. monocytogenes*)、ポーランド産家禽肉ケバブ (串焼き) のサルモネラ、ルーマニア産鶏肉 (ドラムスティック) のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、デンマーク産スモークトラウトのリステリア (*L. monocytogenes*)、オランダ産鶏ひき肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*、*S. Infantis*)、スウェーデン産鶏肉ソーセージのリステリア、ポーランド産ベーコンのリステリア (*L. monocytogenes*)、オーストリア産家禽肉ケバブのサルモネラ (C群)、ポーランド産家禽肉ケバブのサルモネラ (D群)、スロベニア産 (ポーランド産原材料使用) 家禽肉ケバブ (串焼き) のサルモネラ属菌、ドイツ産 (ポーランド産原材料使用) 家禽肉ケバブのサルモネラ (C群)、オランダ産冷凍鶏ひき肉のサルモネラ (*S. Paratyphi B*)、ベルギー産鶏肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*) など。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

スペイン産メルルーサのアニサキス属、セルビア産原材料使用 (クロアチアで包装) のドライプラムのカビ、スロバキア産 (ウクライナ産原材料使用) 冷蔵鶏むね肉のサルモネラ (*S. Infantis*、25g 検体陽性)、オーストリア産チキンバーガーのリステリア (*L. monocytogenes*)、ドイツ産冷蔵豚ひき肉のサルモネラ (*S. Infantis*、*S. Livingstone*)、イタリア産家禽肉製品のサルモネラ属菌、ドイツ産鶏肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、オランダ産イガイ (*Mytilus edulis*) のサルモネラ属菌、ポーランド産鶏手羽肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、米国産殻むきクルミのサルモネラ属菌、クロアチア産鶏手羽肉のサルモネラ、エクアドル産冷凍むきエビのビブリオ (*V. vulnificus*) など。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

イタリア産乾燥家禽ミールのサルモネラ、ドイツ産菜種ミールのサルモネラ、ノルウェー産の生鮮サーモンのリステリア (*L. monocytogenes*)、ポーランド産 (エストニア経由) の冷凍鶏もも肉のサルモネラ (*S. Newport*) など。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

エクアドル産エビのコレラ菌、モロッコ産魚マトウダイ (*Zeus faber*) のアニサキス、モロッコ産メルルーサの卵のアニサキス、インド産 betel leaf (キンマの葉) のサルモネラ、イ

ラン産袋入りピスタチオの生きた昆虫、インド産ゴマ種子のサルモネラ（4/5 検体陽性）、インド産ゴマ種子のサルモネラ（1/5 検体陽性）など。

● アイルランド食品安全局（FSAI: Food Safety Authority of Ireland）

<https://www.fsai.ie/>

アイルランド食品安全局（FSAI）が世界各国の食品規制当局代表者による国際フォーラム「International Heads of Food Agencies Forum」を主催

FSAI hosts International Heads of Food Agencies Forum

10 MAY 2023

[https://www.fsai.ie/news-and-alerts/latest-news/fsai-hosts-international-heads-of-food-agencies-fo](https://www.fsai.ie/news-and-alerts/latest-news/fsai-hosts-international-heads-of-food-agencies-forum)

アイルランド食品安全局（FSAI）は、世界各国の食品規制当局者をアイルランドの首都ダブリンに招き、食品規制当局の代表者による国際フォーラム「International Heads of Food Agencies Forum」の第4回目の年次会合を開催した。今回は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック以降初めての対面での会議となった。公衆衛生・健康福祉・医薬品国家戦略分野を担当する Hildegard Naughton 大臣によって公式開催されたこのフォーラムには、サウジアラビア、ニュージーランド、中国、モロッコ、シンガポール、ドイツ、英国などの各国の食品規制当局計17機関が集結し、ますます複雑化・国際化が進むフードシステムにおける食品安全危機および食品安全事案への最善の対応策について議論が行われた。この国際フォーラムには、世界保健機関（WHO）、国際連合食糧農業機関（FAO）およびコーデックス委員会（CAC）の幹部も出席した。

世界は近年、COVID-19 パンデミックなどによる新興・再興のリスクを経験している。今回のフォーラムでは、これらの問題を把握・解決し食品安全システムを強化するためには継続的な世界規模の連携が重要であることが強調された。

今回のフォーラムのセッションでは、リスクや脅威を特定するためにいくつかの国で実施されているシステムに関する情報の共有、および世界の主な食品安全事案や食品不正事案から得られた教訓の検証が行われ、最良実施規範および注意すべき一般的な盲点について検討された。

本国際フォーラムは、FSAI、サウジアラビア食品医薬品局（SFDA）およびオーストラリア・ニュージーランド食品基準局（FSANZ）によって2020年に設立され、食品の安全性や品質に影響を及ぼす「消費者行動」・「食品の製造方法」・「技術」・「環境条件」の

急速な変化に世界各国の食品規制当局者が適応できる態勢を確実に整えること、およびこれらの当局者の決定や現行の食品規制措置が引き続き確実に消費者保護に役立つようにすることに焦点が定められている。

● ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR: Bundesinstitut für Risikobewertung)

<https://www.bfr.bund.de/>

キプロスとドイツが食品安全のため協力

Cyprus and Germany: Working together for safe food

8 June 2023

<https://www.bfr.bund.de/cm/349/cyprus-and-germany-working-together-for-safe-food.pdf>

ドイツとキプロスは、消費者の健康保護における連携の強化を目指している。これは、ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR) と姉妹機関である SGL (State General Laboratory : キプロス国立総合研究所) との共同声明の目的である。SGL は、特に食品安全に対する責任を担う研究機関である。2023年6月8日にキプロスの Nicosia において、新たな共同声明への調印が SGL の Kokkinofta 所長と BfR の Hensel 所長によって行われた。今回の共同声明の合意内容は、化学的・生物学的リスク評価、食品表示の正確性検査 (原産地証明) など、食品安全に焦点を定めている。

ドイツとキプロスは 2010 年から協力関係を継続している。今回の新たな協定は、知見の共有および新技術の開発を優先課題に位置づけている。主なテーマは、健康リスク評価、食品の安全と品質に関する組織的なリスクコミュニケーション、共同研究プロジェクトなどであり、その他に科学的な交流、研修プログラムおよび合同イベントも予定されている。

約 75 万人が居住するキプロス共和国では、中央政府の 1 機関が食品の規制を管轄しており、リスク評価も担っている。キプロスは、様々な食品やワインを輸出している地中海の典型的な農業国であり、その経済基盤は観光産業による影響を強く受けるため、食品安全および消費者保護の向上には特に関心が高い。このため、ワイン表示の正確性の検査分野などにおいて、両機関間の集中的な連携が長年にわたり継続している。

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室